

地域の支え合いによる新たな地域交通プラン ～共助による移動手段の確保～

背景

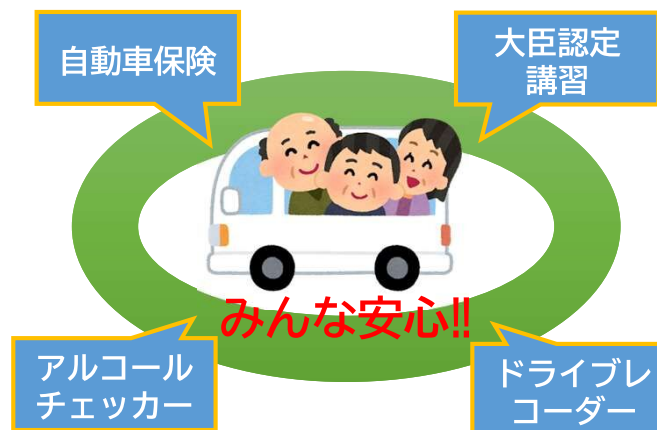
人口減少社会、高齢化の進展に伴い、今後、移動困難者が増加することが想定されており、移動手段の確保が課題の一つとなっている。また、地域では「買い物」「担い手」「移動」「居場所」「見守り」などが課題となっている。

内容

上記の課題を解決する方法として地域が主体となり、高齢者の買い物等の移動手段を確保する「地域支え合い型交通」に対し、自動車保険、大臣認定講習、ドライブレコーダーなどの支援を市が行う。

■総社市版ライドシェア詳細

- ・道路運送法の許可や登録が不要な、地域の白ナンバー車両を活用
- ・利用料金は燃料費等の実費相当分
- ・車両管理や予約、運転手などは地域で対応し、利用者や運転手が安心・安全に活動できるよう、自動車保険や大臣認定講習、ドライブレコーダーなどの経費を市で負担



■活用イメージ



効果

- ・定期的に顔を合わせることで見守り活動に繋がる。
- ・買い物等ができる満足感・充実感を得られる。
- ・買い物支援等による地域の活性化に繋がる。
- ・高齢者の外出を支援することで健康寿命の延伸に寄与する。
- ・地域に貢献しているという充足感を得られる。
- ・既存の地域公共交通を補完し移動手段の選択肢が広がる。
- ・免許証の自主返納につながる。



+α
補完

